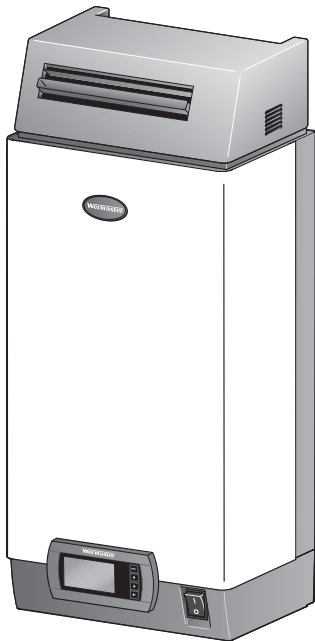


室内直接噴霧型 電極式蒸気加湿器 **WM-SEC(FA/FB)タイプ**

施工要領書／蒸気ブローア取付要領書



- < 蒸気ブローア一体取付 >
SEC03FA/SEC05FA/SEC08FA/
SEC10FA/SEC15FA
- < 蒸気ブローア分離取付 >
SEC03FB/SEC05FB/SEC08FB/
SEC10FB/SEC15FB

室内直接噴霧型の加湿器本体と機器組込型の加湿器本体は、構造、制御が異なるため、現地での変更・切り替えはできません。

- このたびはウエットマスター蒸気式加湿器をご採用いただき、まことにありがとうございます。
- この施工要領書／蒸気ブローア取付要領書には、室内直接噴霧型に使用する蒸気ブローアの取付の説明を記載しています。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、作業の前に加湿器本体に添付の説明書類を必ずお読みいただき、正しい施工・設定を行ってください。
- 給水水質は、水道法水質基準に準ずる飲料水としてください。純水および軟水は使用できません。
- 本書の内容以外に関する説明は右記を参照し、該当するドキュメントをご確認ください。

もくじ

安全のために必ず守ること	P.1
1 梱包内容（付属品）の確認	P.3
2 取付にあたって	P.5
3 蒸気ブローアの取付	
3-1 共通事項 / 蒸気ブローアの取付タイミングについて	P.7
3-2 蒸気ブローア一体取付 : FA タイプの場合	P.7
3-3 蒸気ブローア分離取付 : FB タイプの場合	P.10
4 試運転	P.13
5 仕様	
SEC03 ～ SEC15FA/FB	P.14

梱包内容
(付属品)の確認
取付にあたって
蒸気ブローアの取付
試運転
仕様

施工要領書／設定要領書	試運転作業要領書	取扱説明書
加湿器本体の取付、給排水接続、電気配線（計装）など、加湿器の施工に関する説明および出荷時設定から変更を行う場合の手順についてを記載しています。	施工終了後、加湿器が正常に作動するかの試運転手順について記載しています。	運転動作、運転管理、一般保守要領など、加湿器の取り扱いについてを記載しています。

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡、重症を負う可能性があるもの
 注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生に結びつくもの

・図記号の意味は以下のとおりです。

 必ず守る	 絶対しない	 触らない	 濡手禁止 絶対に濡れた手で触らない	 水濡禁止 絶対に水に濡らさない
---	--	---	---	---

警告



取付工事は製品添付の説明書類に従って 確実に行う

取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。



取付工事は、専門業者に依頼する

取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。



高所作業時の安全を確保する

高さが2メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。



製品の大きさ、重さに注意する

取付には製品を支持する揚重機等を使用し、作業者の危険を防止するための措置を講じてください。



取付は、質量に十分耐える所に確実に行う

強度が不足している場合は、落下や転倒等による事故の原因になります。



工事部材は付属品および指定の部材を使用する

寸法や材質等の適合しない部材を使用すると、落下・水もれ・感電・火災などの原因になります。



電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工する電源回路要領不足や取付不備があると感電・火災の原因になります。



電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

接続や固定が不完全な場合は、発煙、火災の原因になります。



加湿器元電源には、必ず加湿器専用の漏電ブレーカを取り付ける

漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。



定格電圧、制御容量範囲内で使用する

誤った電源で使用すると感電・火災などの原因になります。



アース接続（D 種接地工事）を必ず行う

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



活線作業を行う際は、絶縁用保護具を着用するか、活線作業用器具を使用する

適切な保護具、器具を使用しない場合、感電の原因になります。



作業時は、けが防止のため保護用手袋を着用する

やけど・けがの原因になります。



寿命となった蒸気シリンダは必ず交換する

蒸気シリンダは消耗品です。寿命に至ったまま継続して使用すると、発煙・発火などの事故の原因になります。



電気・電子機器等、濡れて困る物の上に加湿器を設置しない

漏電火災や事故の原因になります。



振動が発生する機器などの壁面には取り付けない

空調機や全熱交換機などの振動が発生する機器の壁面に取り付けると、落下や転倒、加湿器本体内の部品の故障や、ねじ類の緩みの発生など、故障や事故の原因になります。



改造はしない

故障や水もれ・感電・火災の原因になります。



加湿器本体に水、液体をかけないこと

ショート・漏電・感電・事故・発煙・火災の原因になります。



濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作しない

感電・事故・発煙・火災の原因になります。



運転中および運転停止直後の加湿器・接続配管・電気部品に素手で触れない

やけど・感電の原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

水道法、消防法等に規制される部材の取扱いについては、専門業者に依頼する

正しい取り扱いがされない場合、法令違反になることがあります。



必ず守る

加湿器給水に純水および軟水は使用しない

運転特性上、軟水および純水を使用した場合、加湿器は正常に動作しません。



必ず守る

必要に応じてバックアップ機を設置するなど、安全対策を講ずる

加湿器が故障や誤動作、メンテナンスに伴い停止した場合、安全上の問題や、設備・物品などへの障害・リスクが発生する原因になります。



必ず守る

凍結の恐れがある地域では、必ず凍結防止工事を行う

配管などが破裂し、水もれの原因になります。



必ず守る

ドレン配管は、本書にしたがって確実に排水するように配管し、結露が生じないように断熱する

配管工事に不備があると水もれの原因になります。



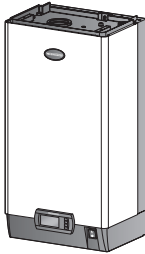
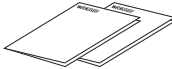
必ず守る

製品の運搬は十分注意して行う

原則二人以上で行ってください。ケガや落下による破損の原因になります。

1 梱包内容（付属品）の確認

- 室内直接噴霧型の梱包内容（付属品）は以下のとおりです。開封後は直ちに内容を確認してください。
- お客様のご指定により仕様・数量の変更や別部品の追加、梱包種類別の配送先の変更などを行う場合がありますので、現場の指示をよくご確認ください。

梱包内容 / 部品名称	仕様など	形状	個数
A 加湿器本体梱包			
①加湿器本体 SEC03 ~ 15FA/FB のいずれか	—	 SEC03 ~ SEC15FA/FB	1 台
②取付ブラケット	加湿器本体背面に仮留め		1 個
③取付金具	—		1 個
④取付ビス類	袋に入れて本体天板に貼り付け (ビス 3、樹脂プラグ 3)	 × 3	2 セット
⑤説明書類*	施工要領書／設定要領書、 試運転作業要領書		各 1 冊
※取扱説明書は環境負荷軽減を目的に、製品には同梱しておりません。Web サイトよりダウンロードまたは弊社宛で請求ください。			
B 給排水ホース梱包			
⑥給水フレキシブルチューブ	0.6m、パッキン付属		1 本
⑦給水継手	R1/2 × G3/4		1 個
⑧排水ホース	φ 40 × φ 50 × 0.5m、 ホースバンド付属		1 本

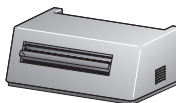
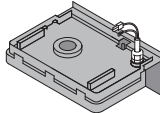
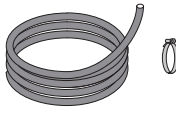
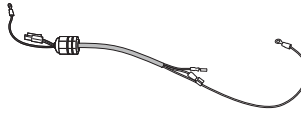
（付属品）の梱包内容の確認

取付にあたって

蒸気ブローアの取付

試運転

仕様

梱包内容 / 部品名称	仕様など	形状	個数			
			FA (一体取付)		FB (分離取付)	
			SEC03	SEC05~15	SEC03	SEC05~15
C 蒸気ホース梱包						
⑨蒸気ホース	1.5m、ホースバンド付属		—	—	1 本	1 本
D 蒸気フロア梱包						
⑩蒸気フロア	取付ビス類付属、 凝縮水ホース A 取付済		1 台	1 台	1 台	1 台
⑪蒸気ホース	ホースバンド付属		—	1 本	—	—
⑫フロア取付ブラケット	フロア電源コード (コードグリップ付)		—	—	1 個	1 個
⑬凝縮水ホース B	ホースバンド付属		—	—	1 本	1 本
⑭フロア電源コード	コードグリップ付		1 本	1 本	—	—
⑮蒸気ホース用アダプタ	ホースバンド、 φ 22 蒸気ホース、 φ 30 蒸気ホース取付済		1 本	—	—	—
⑯蒸気ホース用アダプタ	ホースバンド、 φ 22 蒸気ホース取付済		—	—	1 本	—
⑰説明書類	施工要領書／蒸気フロア取 付要領書 (蒸気フロア用)		1 冊	1 冊	1 冊	1 冊

(付属品)の梱包内容
の確認

取付にあたって

蒸気フロアの取付

試運転

仕様

2 取付にあたって

加湿器本体の取付・給排水配管・電気配線などの施工内容および施工後の試運転につきましては、加湿器本体に添付の「施工要領書／設定要領書」、「試運転作業要領書」をご参照ください。
使用開始後の運転管理・保守点検などにつきましても、別冊の「取扱説明書」をご参照ください。

- 蒸気ブローの取付方法は、加湿器本体に直接取り付ける「一体取付」と、加湿器本体の上方に単独で取り付ける「分離取付」があります。何れの場合も P.6 図 -3 「施工参考図」をご参照ください。
- 取付にあたっては、下の図 -1、図 -2 の周囲スペースを必ず確保してください。

警告

取り付けは、重さに十分耐える所に確実に行う

- ❗ 強度不足や取り付け工事に不備があると、落下や転倒などによる事故の原因になります。特に室内壁面に取り付ける場合は、ご注意ください。

振動が発生する機器などの壁面には取り付けない

- ❗ 空調機や全熱交換機などの振動が発生する機器の壁面に取り付けると、落下や転倒、加湿器本体内の部品の故障や、ねじ類の緩みの発生など、故障や事故の原因になります。

噴霧蒸気が人にかかる位置には取り付けない

- ❗ 噴霧直後の蒸気や蒸気出口は高温のため、噴霧蒸気が人にかかるとやけどの原因になります。

注意

蒸気噴霧スペースは必ず確保する

- ❗ 障害を与える原因になることがあります。また、蒸気ブローの吹出口前方には、湿気を嫌う物品を設置したり置いたりしないでください。

図 -1 本体周囲メンテナンススペース（図は分離取付：FB で表していますが、一体取付：FA も同様です）

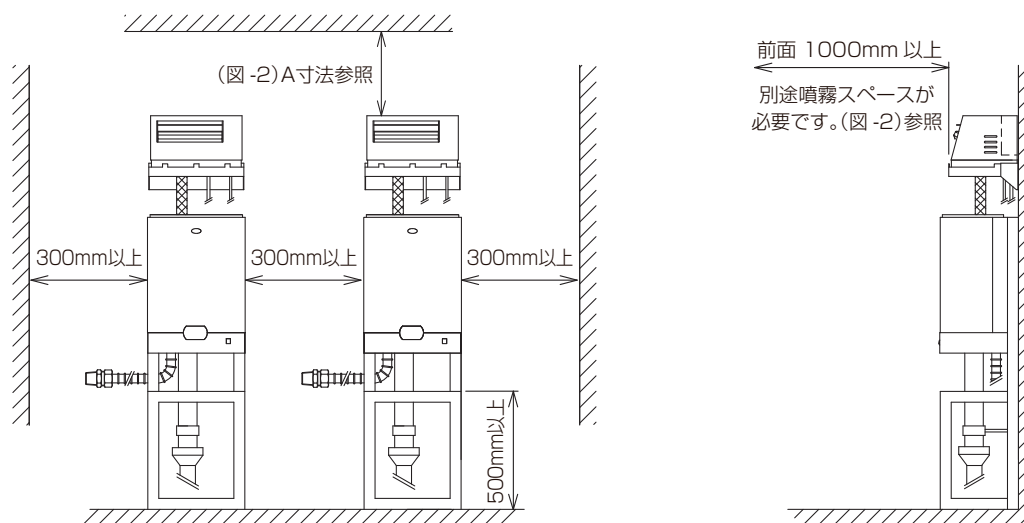
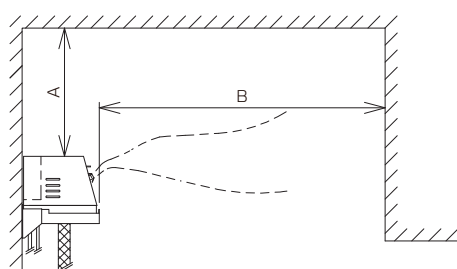


図 -2 蒸気噴霧スペース

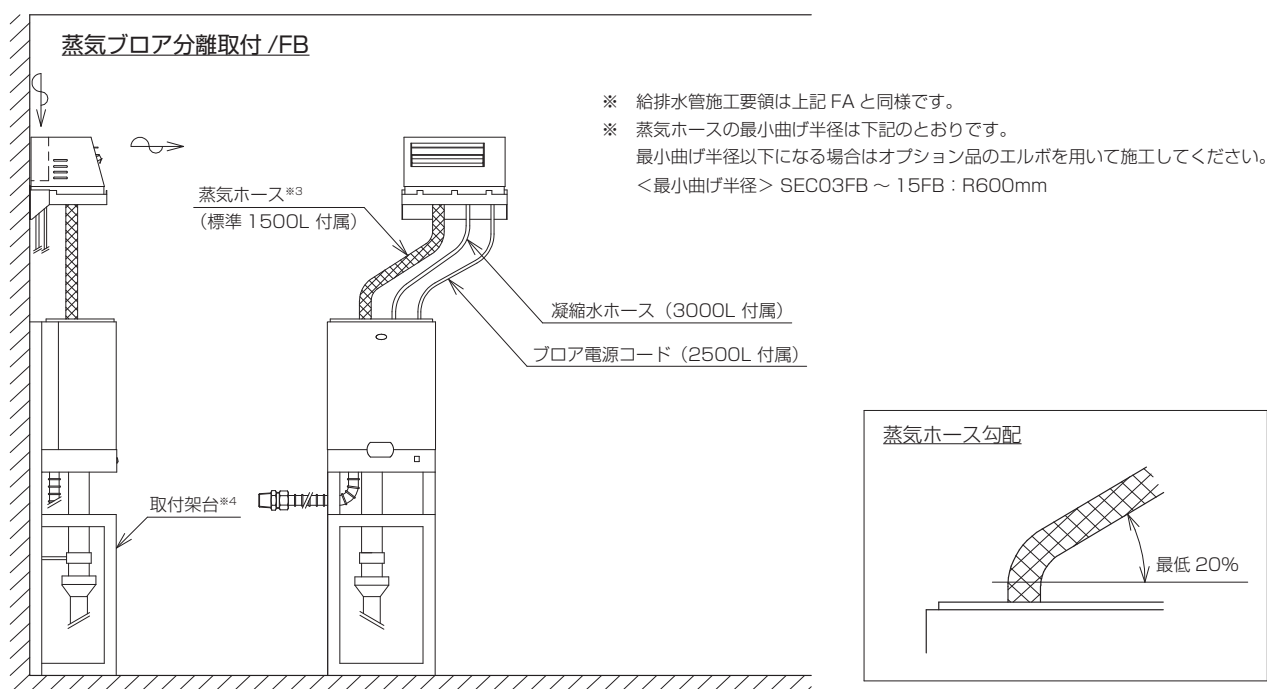
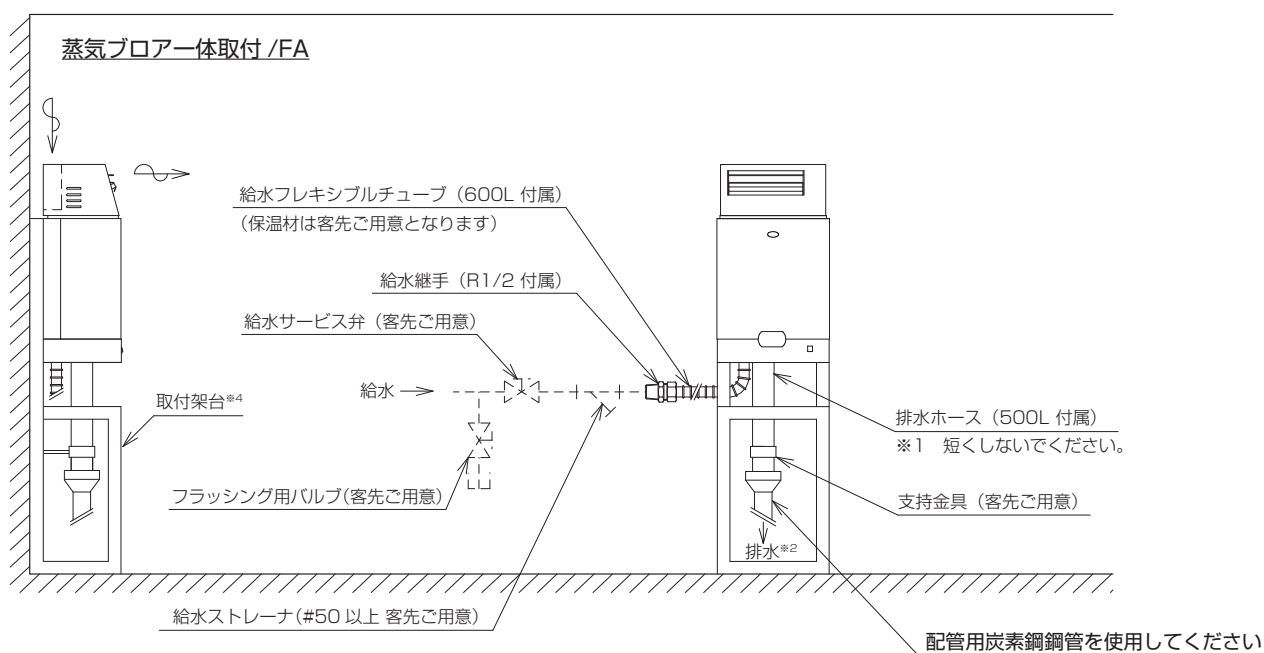
- 噴霧蒸気が人にかからない取付位置を選んでください。
- 取付場所は、空調機など室内の気流に注意し、噴霧された蒸気が室内全体に均一に拡散するように配慮してください。
- 噴霧方向の至近距離（前方および側面方向）に障害物があると、蒸気が凝縮して水滴となり滴下することがあります。下記の蒸気噴霧スペースを確保してください。
- 室内の空気温度が低くなる場合や噴霧方向の障害物の表面が低温になる場合には、蒸気噴霧スペース（下図 B 寸法）が確保できても蒸気の再凝縮が問題となる場合がありますのでご注意ください。



※表の寸法以上のスペースが必要です
吸込温湿度 22℃ 50%

型番	A 寸法	B 寸法
SEC03FA/FB	600mm	3000mm
SEC05FA/FB	700mm	4000mm
SEC08FA/FB	800mm	5000mm
SEC10FA/FB	1000mm	5000mm
SEC15FA/FB	1500mm	6000mm

図-3 施工参考図



- ※ 1 : 付属品の排水ホース (500L) は切らずにそのままご使用ください。短くすると絶縁が低下します。また、排水ホースに応力がかかるような場合、吊金具などで支持を設けてください。水もれなどの原因となります。
- ※ 2 : 加湿器排水ホースおよび加湿器排水配管の先端は大気開放とし、スムーズに流れるように配管してください。なお、排水配管へ直接接続された場合、排水配管内の圧力によっては排水が逆流し、漏水などの原因となります。また、排水配管からの臭気や湯気が逆流しないように必要に応じてトラップを設けてください。
- ※ 3 : 金具などで支持するとき、蒸気シリンダや蒸気噴霧管の接続部および蒸気ホース自体に部分的な応力がかかるような取付は行わないでください。蒸気もれ、蒸気ホースの折れやつぶれなどの原因になります。
- ※ 4 : 加湿器本体の設置は、加湿器の運転重量を考慮し、十分に強度がある架台などを用意し、設置してください。
(弊社ではオプション品として、本体取付架台をご用意しております。)
- ※加湿器本体を壁面などに設置される場合には、取付部分の強度を考慮のうえ必要に応じ補強などを行い、施工してください。
(弊社ではオプション品として、本体取付フレームをご用意しております。)
- ※ : 流通空気の温度が低くなる場合や空調機からのドラフトなどによっては蒸気の再凝縮が問題となることがあります。
- ※ : ヒューミディスタットなどのセンサ類は、蒸気の再凝縮や結露の影響を受けない位置に取り付けてください。
- ※ : フラッシング用バルブ後に配管を接続する場合、クロスコネクションとならないよう処置してください。
- ※ : 本図は、本体と蒸気ブローアを接続するにあたっての蒸気ホース取りまわしを表したイメージ図です。

3 蒸気ブロアの取付

3-1 共通事項 / 蒸気ブロアの取付タイミングについて

- 蒸気ブロアの取付は、加湿器本体を壁面などに固定した後に行ってください（加湿器本体の取付については、加湿器本体添付の施工要領書／設定要領書参照）。

蒸気ブロア一体取付：FA タイプの取付は下記項目、

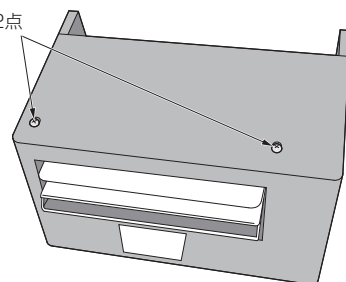
蒸気ブロア分離取付：FB タイプの取付につきましては、本書の P.10 ～をご参照ください。

3-2 蒸気ブロア一体取付：FA タイプの場合

1) 蒸気ブロアからカバー（ビス 2 点）を外します(図 -4)。

図 -4

ビス2点

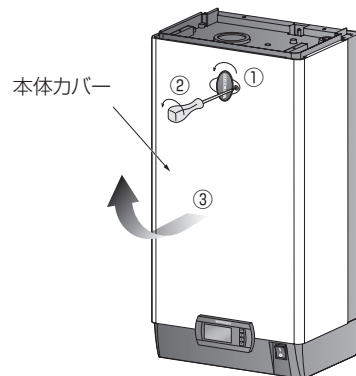


2) 加湿器本体のカバーを開けます。

■本体カバーの開け方 (図 -5)

- ① 本体カバーのロゴプレート(赤)を回す。
- ② カバー固定ネジをゆるめる。
- ③ 本体カバーを手前に約 45° 傾けた後、持ち上げる。

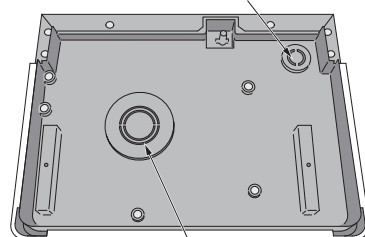
図 -5



3) 加湿器本体上面の蒸気ホース用ロックアウト孔、電源用ロックアウト孔を開けます(図 -6)。

図 -6

電源用ロックアウト孔



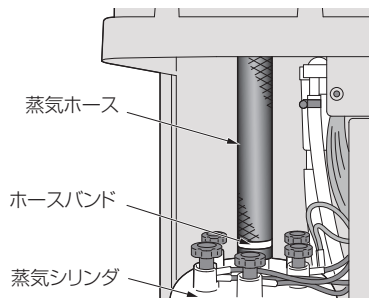
蒸気ホース用ロックアウト孔

4) 蒸気ホース用ロックアウト孔に蒸気ホースを通し、蒸気シリンダと接続します。蒸気ホースは、ホースバンドで固定（締付トルク $1.5\text{N}\cdot\text{m}$ 程度）してください(図 -7)。残りのホースバンドは、蒸気ブロアとの接続のために上から通しておきます。

※ SEC10 ～ 15FA は、付属の蒸気ホースを 90mm ほど切り落としてから接続してください。

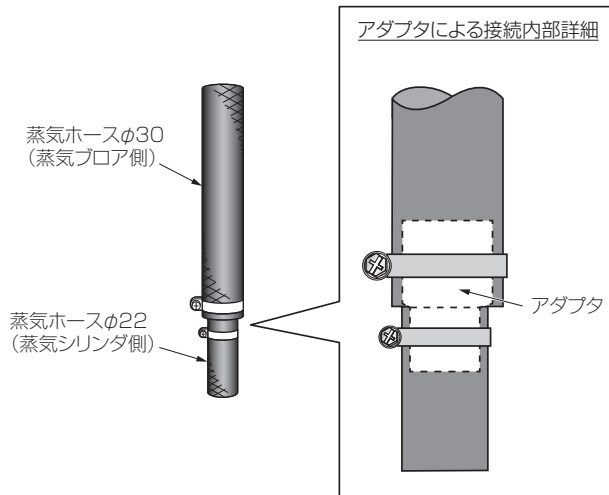
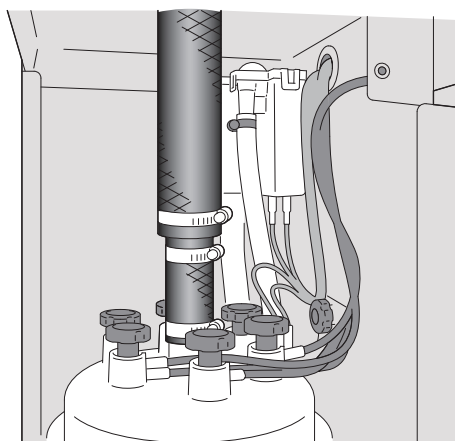
※ SEC03FA の場合は P.8 「SEC03FA の蒸気ホース用アダプタについて」も併せてご確認ください。

図 -7



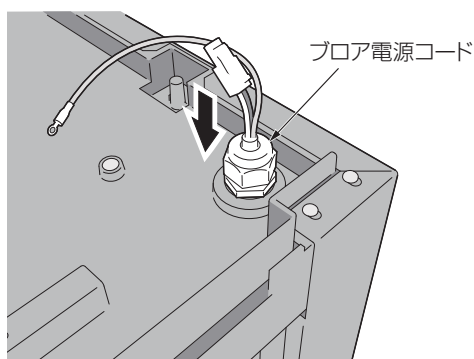
SEC03FA の蒸気ホース用アダプタについて

SEC03FA は蒸気ホース用アダプタ（ホースバンド、 $\phi 22$ 蒸気ホース、 $\phi 30$ 蒸気ホース取付済）を使用して、蒸気シリンダと蒸気ブローアを接続します。蒸気シリンダ、蒸気ブローアとの接続部分にはホースバンドを必ず使用してください（締付トルク $1.5\text{N} \cdot \text{m}$ 程度）。

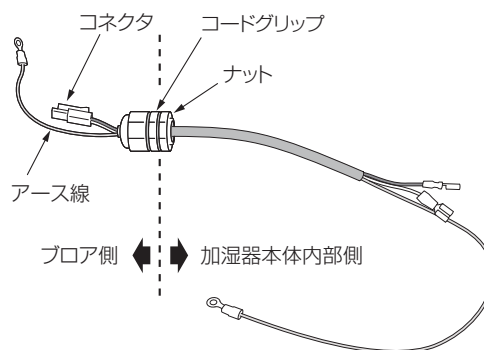


5) ブロー電源コードのコードグリップのナットを外し、P.7 3) であけた電源用ロックアウト孔（P.7 図-6）にブロー電源コードを上から差し込みます（図-8）。その後、加湿器本体内部側からナットで固定してください。

図-8



ブロー電源コード詳細



6) 蒸気ブローアを加湿器本体上面にかぶせるように置いて、蒸気ホースを蒸気ブローアの蒸気管（図-9）へ接続し、タッピンねじ 2 点で蒸気ブローアを固定します（図-10）。

図-9

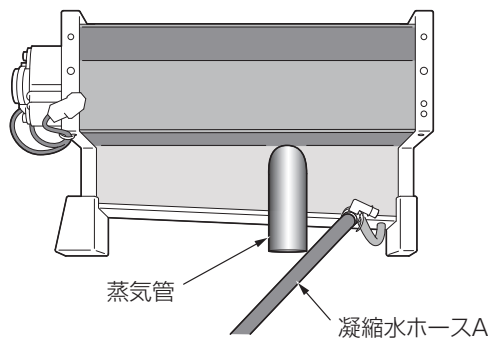
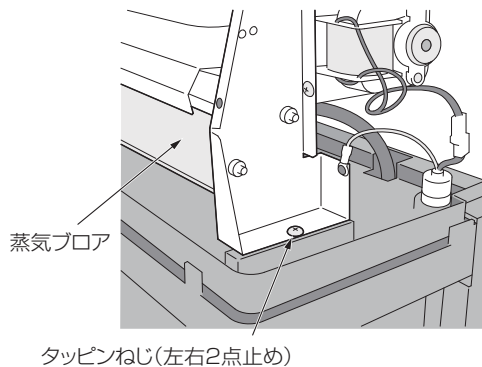


図-10



梱包内容
(付属品)の確認

取付にあたって

蒸気ブローアの取付

試運転

仕様

7)凝縮水ホースA (P.8 図-9)を加湿器本体上面のホース接続口(図-11)に差し込みます(ホースバンドはありません)。

8)ブローファンのコネクタとブロー電源コードのコネクタを接続します(図-12)。

9)ブロー電源コードのアース線を蒸気ブローアの接地端子へビス止めします(図-12)。

図-11

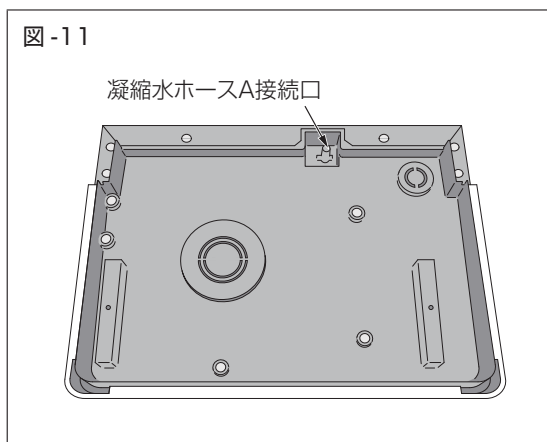
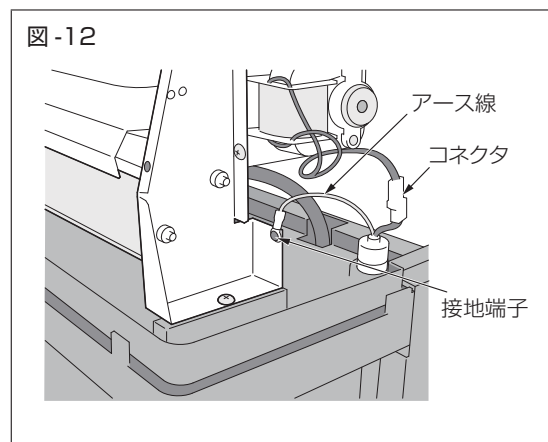


図-12



10)蒸気ブローアの蒸気管に接続した蒸気ホースをホースバンドで固定(締付トルク 1.5N・m程度)します(図-13)。

11)蒸気ブローアに元通りカバー(ビス2点)を取り付けます(P.7 図-4)。

12)P.8 5)で電源用ロックアウト孔へ差し込んだブロー電源コードの端子(白色1本・黒色1本)を電源用コネクタに差し込みます。「カチッ」と音がするまでツメを差し込み、軽く引っ張ってゆるみや抜けのないことを確認してください(図-14)。また、アース線(緑色)を接地端子にビス止めしてください(図-15)。

13) P.7 2)の逆の手順で加湿器本体のカバーを元通りに取り付けます。

図-13

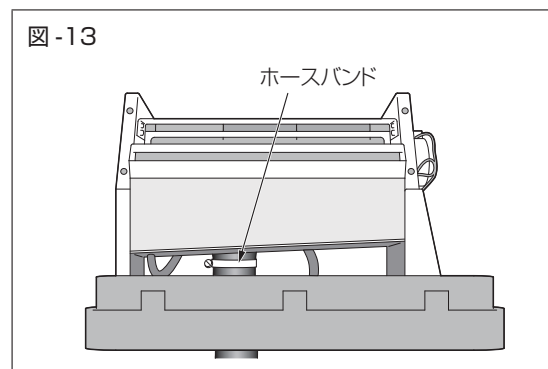


図-14

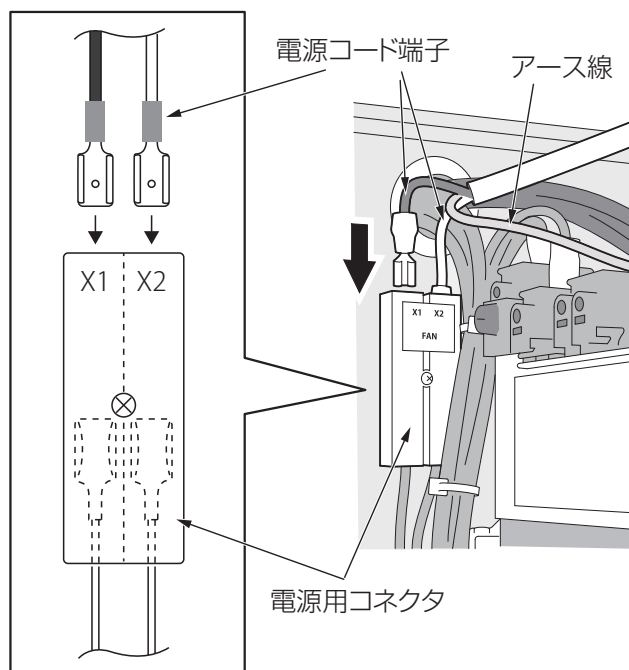
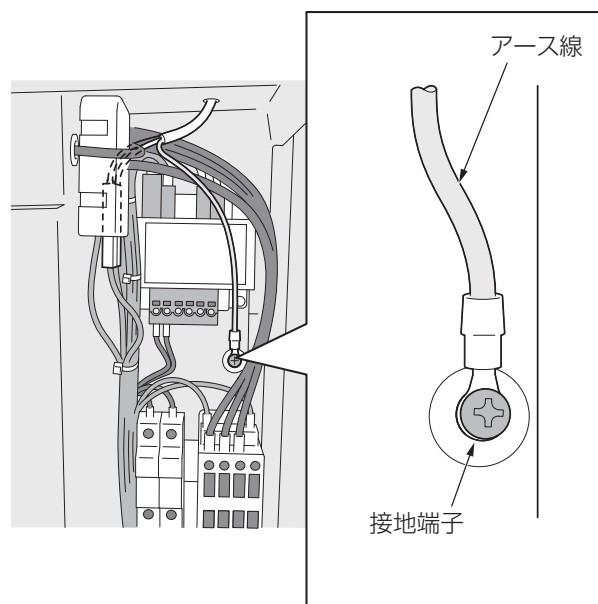


図-15



3-3 蒸気ブロア分離取付：FB タイプの場合

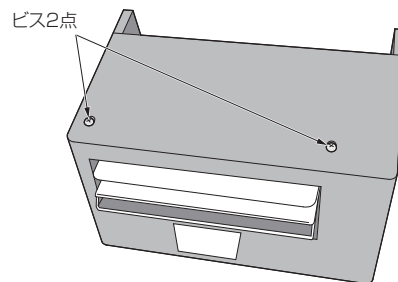
1)加湿器本体に対する蒸気ブロアの取付位置を決めます。取り付ける壁面の強度に注意してください。

※加湿器本体と蒸気ブロアの間を接続する蒸気ホースの長さは、標準品で 1.5m です。

※蒸気ブロア取付の際に生ずるチリやゴミが加湿器本体内に入らないように配慮してください。

2)蒸気ブロアからカバー（ビス 2 点）を外します(図-16)。

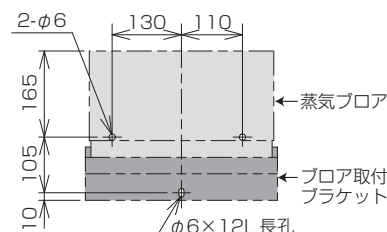
図-16



3)分離取付（FB タイプ）は、蒸気ブロアを固定するためにブロア取付ブラケットを使用します。付属のビス 3 点で位置決めした壁面などへ取り付けてください(図-17)。

- ・蒸気ホースの最小許容曲げ半径は、R600mm です。蒸気ホース、凝縮水ホースともに流れの障害となるような変形や折れが生じないように注意してください。また蒸気ホースの曲げ荷重が蒸気シリンダにかからないように蒸気ホースの長さに注意してください。

図-17

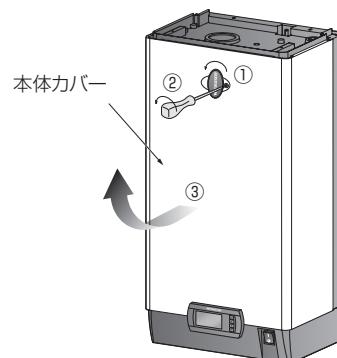


4)加湿器本体のカバーを開けます。

■本体カバーの開け方 (図-18)

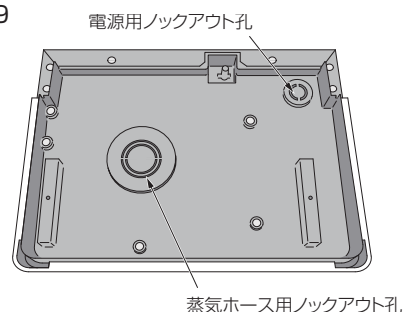
- ①本体カバーのロゴプレート(赤)を回す。
- ②カバー固定ネジをゆるめる。
- ③本体カバーを手前に約 45° 傾けた後、持ち上げる。

図-18



5)加湿器本体上面の蒸気ホース用ロックアウト孔、電源用ロックアウト孔を開けます(図-19)。

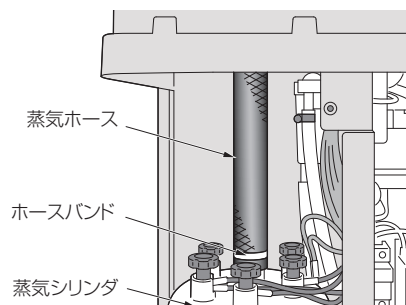
図-19



6)蒸気ホース用ロックアウト孔に蒸気ホースを通し、蒸気シリンダと接続します。蒸気ホースは、ホースバンドで固定（締付トルク 1.5N・m 程度）してください(図-20)。残りのホースバンドは、蒸気ブロアとの接続のために上から通しておきます。

※ SEC03FB の場合は P.11 「SEC03FB の蒸気ホース、蒸気ホース用アダプタについて」 も併せてご確認ください。

図-20



梱包内容
(付属品)の確認

取付にあたって

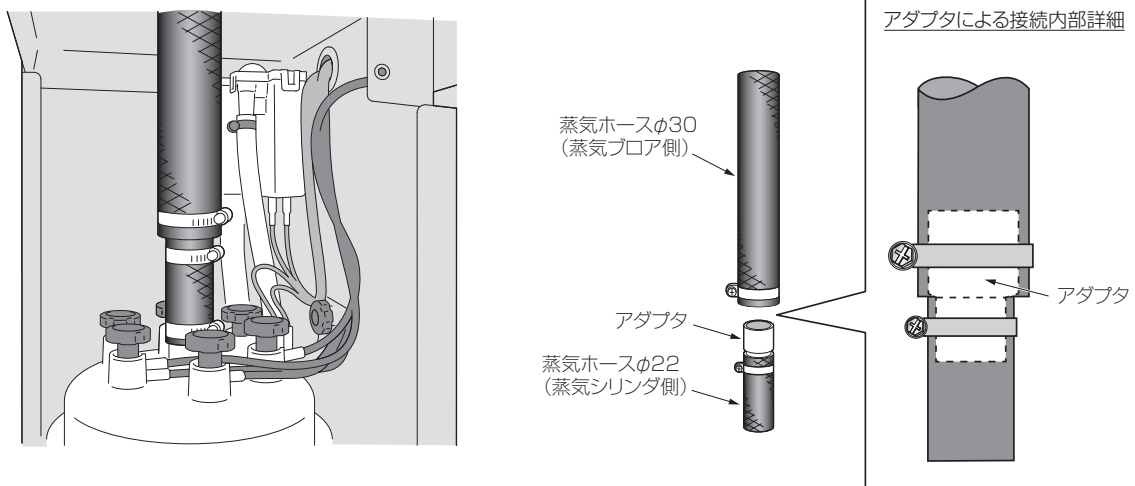
蒸気ブロアの取付

試運転

仕様

SEC03FB の蒸気ホース、蒸気ホース用アダプタについて

SEC03FB は内径 ϕ 30 の蒸気ホースと蒸気ホース用アダプタ（ホースバンド、 ϕ 22 蒸気ホース取付済）を使用して、蒸気シリンダと蒸気ブロアを接続します。接続部分にはホースバンドを必ず使用してください（締付トルク $1.5\text{N} \cdot \text{m}$ 程度）。



7) 蒸気ブロアをブロア取付ブラケットにかぶせるように置いて蒸気ホースを蒸気ブロアの蒸気管（図 -21）へ接続し、タッピンねじ 2 点で蒸気ブロアを固定します（図 -22）。

図 -21

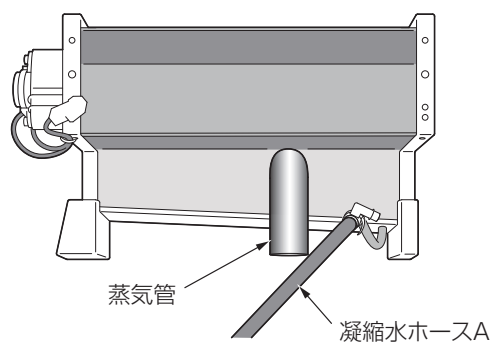
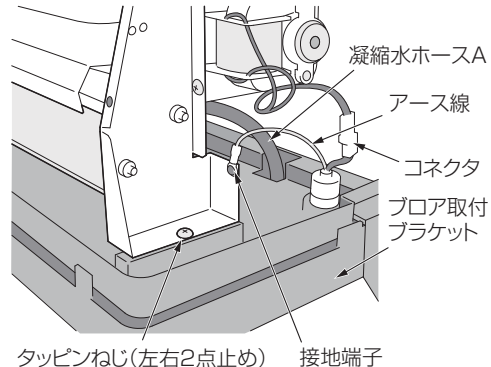
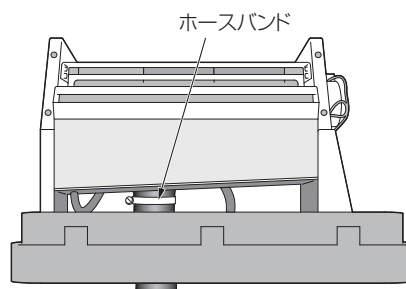


図 -22

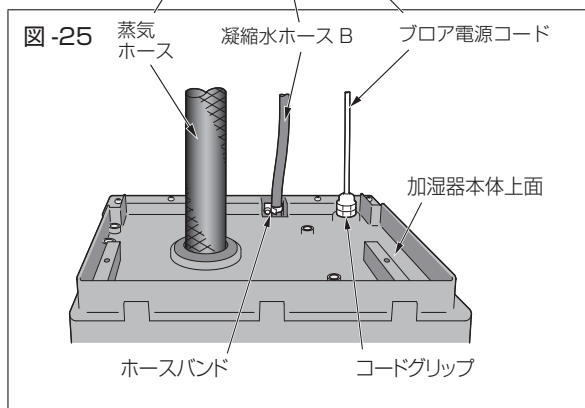
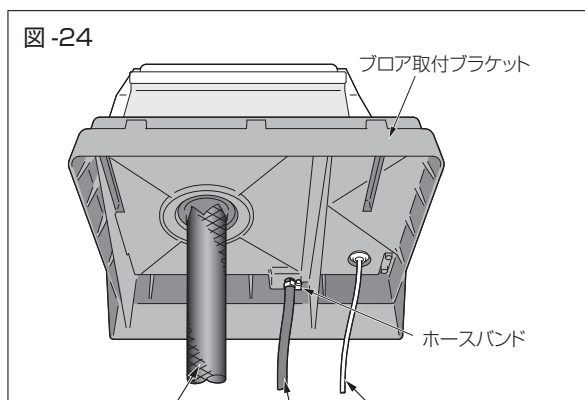
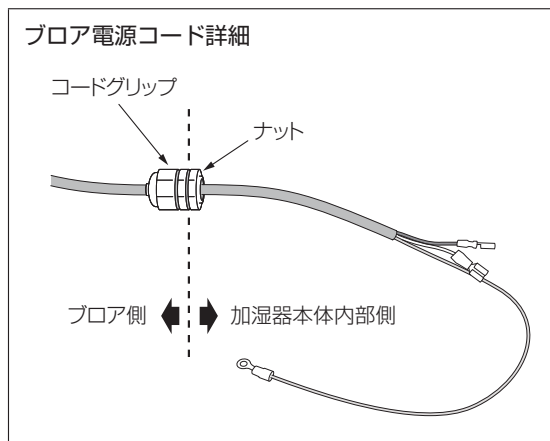


- 8) 凝縮水ホースA（蒸気ブロアに付属）をブロア取付ブラケットのホース接続口（図 -22）に差し込みます（ホースバンドはありません）。
- 9) ブロアファンのコネクタとブロア電源コード（ブロア取付ブラケットに付属）のコネクタを接続します（図 -22）。
- 10) ブロア電源コードのアース線を蒸気ブロアの接地端子へビス止めます（図 -22）。
- 11) 蒸気ブロアの蒸気管に接続した蒸気ホースを、ホースバンドで固定（締付トルク $1.5\text{N} \cdot \text{m}$ 程度）します（図 -23）。

図 -23



- 12) プロア取付ブラケットの下部で、凝縮水ホースBをホースバンドで固定（締付トルク $1\text{N}\cdot\text{m}$ 程度）します（図 -24）。ホースは充分奥まで差し込み、抜けの無いように固定してください。
- 13) 加湿器本体上面の凝縮水ホースB接続口に凝縮水ホースBをホースバンドで固定（締付トルク $1\text{N}\cdot\text{m}$ 程度）してください（図 -25）。
- 14) プロア電源コード（プロア取付ブラケットに付属）のコードグリップ（プロア取付ブラケット下部側）のナットを外し、P.10 5) であけた電源用ロックアウト孔（P.10 図 -19）に上から差し込みます（図 -25）。その後、加湿器本体内部側からナットで固定してください。



- 15) 蒸気プロアに元通りカバー（ビス2点）を取り付けます（P.10 図 -16）。
- 16) 14) で電源用ロックアウト孔に差し込んだプロア電源コードの端子（白色1本・黒色1本）を電源用コネクタに差し込んでください。「カチッ」と音がするまでツメを差し込み、軽く引っ張ってゆるみや抜けのないことを確認してください（図 -26）。また、アース線（緑色）を接地端子にビス止めしてください（図 -27）。
- 17) P.10 4) の逆の手順で加湿器本体のカバーを元通りに取り付けます。

図 -26

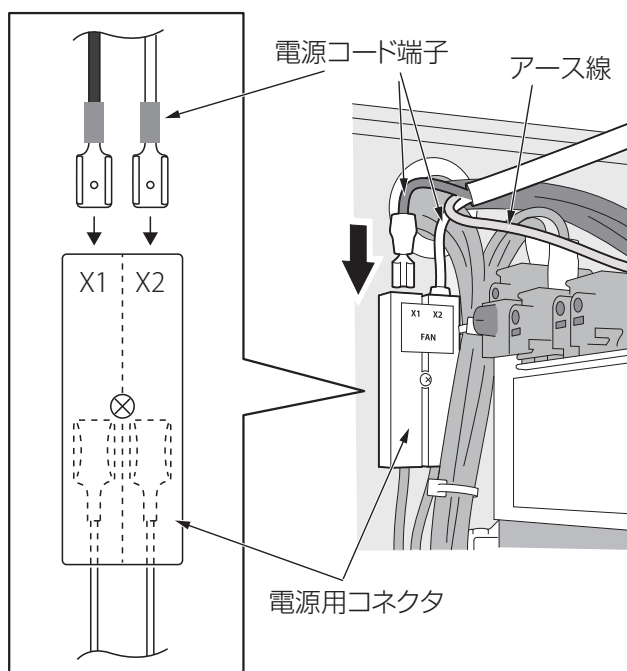
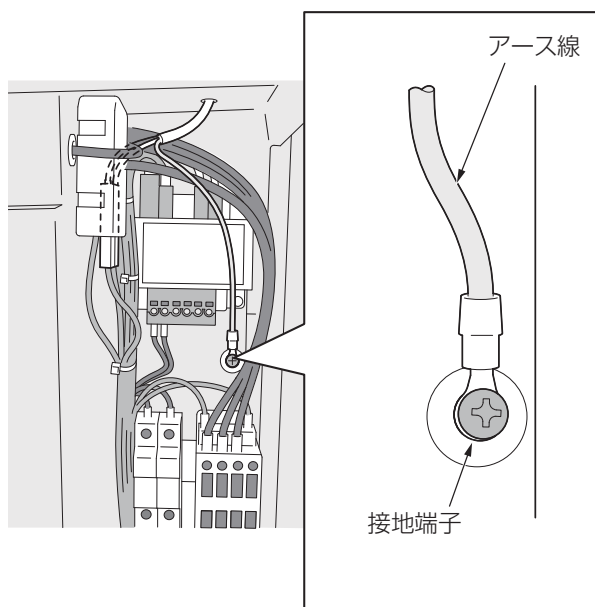


図 -27



4 試運転

- 試運転は、加湿器本体添付の試運転作業要領書の内容に従って実施してください。また、下記の諸点について必ず確認し、不都合な点があれば必ず修正してください。

- ☐ 加湿器本体の運転と連動して蒸気フロアが運転すること
- ☐ 蒸気フロアおよび加湿器本体からの漏水がないこと
- ☐ 蒸気噴霧スペース（P.5 図-2 参照）が確保されていること
- ☐ 蒸気フロアの吹出口前方に湿気を嫌う物品のないこと
- ☐ 試運転後、加湿器本体内および周囲に結露や凝縮を生じていないこと

梱包内容
(付属品)の確認

取付に
あたって

蒸気フロアの取付

試運転

仕様

5仕様

機種・型式		電極式蒸気加湿器 [SEC]（比例制御 / ON-OFF 制御兼用）				
型番	フロア一体取付	WM-SEC03FA	WM-SEC05FA	WM-SEC08FA	WM-SEC10FA	WM-SEC15FA
	フロア分離取付	WM-SEC03FB	WM-SEC05FB	WM-SEC08FB	WM-SEC10FB	WM-SEC15FB
最大蒸気発生量 (kg/h)※1		3.0	5.0	8.0	10.0	15.0
		注：蒸気発生量の5～10%程度は蒸気ホースおよびフロア本体でドレンとなります。型番選定時にはドレン量を考慮した選定としてください。				
蒸気量調整範囲 (kg/h)		0.6～3.0	1.0～5.0	1.6～8.0	2.0～10.0	3.0～15.0
蒸気フロア風量 (m³/h)		140/115 (50/60Hz)				
定格電源		三相 AC200V 50/60Hz				
運転音〔dB (A)〕		48	48	48	51	60
最大定格消費電力 (kW)※2		3.0	4.9	7.8	9.8	14.7
定格消費電力 (kW)		2.3	3.8	6.0	7.5	11.3
最大定格電流値 (A)※2		8.5	14.0	22.5	28.2	42.3
定格電流値 (A)		6.5	10.8	17.3	21.7	32.5
適合漏電ブレーカ	過電流容量 (A)	10	15	30	40	50
	感度電流 (mA)	30	30	30	100	100
制御信号※3	比例制御	電流入力 ●4～20mADC (入力インピーダンス 100 Ω) ●0～20mADC (入力インピーダンス 100 Ω)				
		電圧入力 ●0～10VDC (入力インピーダンス 20kΩ) ●2～10VDC (入力インピーダンス 20kΩ)				
	ON-OFF 制御	二位置式ヒューミディスタットによる ON-OFF 信号				
外部信号		運転および異常（一括）を無電圧接点信号として取り出し可能				
本体質量 (kg)		16.5	18.5	19.5		
本体運転時質量 (kg)		19.5	24.0	29.5		
蒸気フロア質量 (kg)		FA（一体取付）：5.5 FB（分離取付）：7.5				
本体塗装		白（近似色 マンセル N-9.5）・グレー（樹脂色）の2色				
電圧許容範囲		± 10% 以内				
使用条件	本体周囲温湿度	1～40℃（凍結しないこと） 10～80%RH 以下				
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水 [7.5～35.0mS/m（75～350 μ S/cm）の範囲で使用可]				
	給水圧力、温度	0.1～0.5MPa 5～40℃				
安全保護機能		1) 空運転防止機能 2) 過電流検知、電流過少検知 3) 給排水異常検知 4) 制御信号異常検知 5) 蒸気シリンダ寿命検知				

※ 1：使用場所の温度条件、使用する蒸気ホースの長さにより異なりますが、蒸気ホースやフロア本体にて蒸気発生量の5～10%程度がドレンとなります（当社標準条件の場合）。加湿器選定時には、ドレン量を考慮した型番選定としてください。

※ 2：運転状況により一時的に定格電力値、定格電流値の 1.3 倍となることがあります。

※ 3：製品出荷時には電流入力（4～20mADC）に設定してあります。

梱包内容
(付属品)の確認

取付にあたって

蒸気フロアの取付

試運転

仕様



ウェットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

●加湿器のメンテナンス、リニューアルに関するお問い合わせは、最寄りの各拠点へご連絡ください。

保守・サービス営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 カスタマーセンター TEL.03-3954-1110

大 阪 支 店 〒540-0024 大阪市中央区南新町 1-1-2 タイムスビル TEL.06-4790-6606

名古屋営業所 〒464-0858 名古屋市中種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル TEL.052-745-3277

仙 台 営 業 所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-27-7 TEL.022-772-8121

福 岡 営 業 所 〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10 TEL.092-471-0371

●業務用・産業用各種加湿器

●流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

<https://www.wetmaster.co.jp>